取 扱 説 明 書	RR-2415S-X RR-4015S-X	110801200390 110801200391				01

1．取扱説明書

TOKYO GAS

取扱説明書

保証書付

ガスファンヒーター〔家庭用〕

品　　名	RR-2415S-X
機器コード	11-080-12-00390
型 式 名	RC-M2403E

品　　名	RR-4015S-X
機器コード	11-080-12-00391
型 式 名	RC-M4003E

もくじ

このたびは、ガスファンヒーターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

よく読んで安全に正しくお使いください

- ●ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- ●小さなお子さまにはさわらせないでください。
- ●この取扱説明書の一部が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- ●この機器は家庭用ですので、業務用のような使い方をされますと著しく機器寿命が短くなります。
- ●この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- ●取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、または、もよりの東京ガスにお問い合わせください。

換気必要 **必ず換気する。使用中は1時間に1～2回（1～2分）程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する。**
換気をしないと一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

105956
RC-M2403-096 (00)
140500 ◎

保 証 書

ガスファンヒーター

品名/RR-2415S-X・RR-4015S-X

型式名　RC-M2403E　　RC-M4003E

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガスの供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から3年間とし、本体を対象にします。
2. 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3. サービス員がお伺いした時に、保証書をご提示ください。
4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
   (1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
   (2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
   (3) 器具を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合は除きます。）
   (4) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
   (5) 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象
   (6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
   (7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
   (8) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
   (9) 電気の供給トラブル等に起因する不具合
   (10) 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
   (11) 本保証書を紛失された場合
5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせください。

保証履行者　東京ガス株式会社　〒105-8527 東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者　リンナイ株式会社　〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号

修理記録
この本体の修理記録は、本体のフロントカバーの裏に貼り付けの故障診断シートに記録します。

お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日		
販　売　店		扱	
住　　所		者	
電 話 番 号		印	

お客さまへ
1. この保証書をお受け取りになる時に、販売年月日・販売店・扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「保管とアフターサービス」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

1 安全上のご注意（必ずお守りください）

■製品を正しくお使いいただくためや、お客さまや他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

表示	意味
⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について次のような意味があります。

⚠危険

ガス漏れに気づいたときは

火気禁止
■絶対に火をつけない
■電気器具のスイッチの入／切をしない
■電源プラグの抜き差しをしない
■周辺の電話を使用しない
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

■ガス漏れに気づいたら、すぐに使用を中止する
①ガス栓とメーターのガス栓を閉じる。つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外す。
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③外に出て、もよりのガス会社（供給業者）に連絡する。

⚠警告

使用ガスおよび使用電源の確認

■機器本体銘板に記載してあるガス種(ガスグループ）および電源（電圧・周波数）以外のガスおよび電源では使用しない
- ●記載のガスおよび電源と使用ガスおよび使用電源が一致していない場合、不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火や機器故障の原因になりますので使用しないでください。
- ●転居された場合も、供給ガスの種類および電源の種類を必ず確認してください。
- ●わからない場合はお買い上げの販売店、または、もよりのガス会社（供給業者）に連絡してください。

改造・分解禁止

分解禁止
■お客さまご自身では工具を使用して絶対に分解したり修理・改造は行わない
- ●一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。
- ●修理・改造・分解は高度な専門知識が必要です。

周囲の防火措置

■家具や壁・棚など可燃性の部分との距離を十分に離す
- ●火災や機器過熱によるやけどの原因になります。
- ●機器の周囲が囲われていると、正しいお部屋の温度が検知できないことがあります。
- ●機器の後方が壁に近いと、安全装置がはたらいて運転が停止することがあります。

ガス接続

■ガスコードは必ず当社指定のものを使用する
接続の際にはガスコードおよび機器の接続口に傷やごみなどの異物がないことを確認し、確実に接続してください。
確実に接続されていないとガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

以下のガス接続厳禁

■スリムプラグ・機器用ソケット・ゴム管・クチゴム付きガスホースを使用しない
ガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

■ガスコードの上に物をのせたり、踏まれるまたは挟まれる状況で使用しない
ガスコードが破損し、ガス漏れが生じ、火災の原因になります。

■ガスコードを継ぎ足したり、天井などを通さない
接続部からガス漏れが生じ、火災の原因になります。

温風をじかに当てない

■低温やけどに注意する
温風の直接当たる場所では就寝しないでください。低温風でも連続的に当たると低温やけどの原因になります。
（特に乳幼児、小さなお子さま、お年寄り、病人など、自分の意思で身体を動かせない方、疲労が激しいとき、お酒や睡眠薬を飲まれた方、皮膚や皮膚感覚の弱い方などがお使いのときは、周りの方が注意してください。）

■温風をじかに長時間、体に当てない
体調悪化や健康障害の原因になります。

1時間に1～2回換気する

換気必要
■必ず換気する。使用中は1時間に1～2回（1～2分）程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する
- ●換気をしないと、一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。
- ●換気は2ヵ所以上の（風の出入りのある）開口部を設けると効率よくできます。換気扇を使用する場合でも換気扇から離れた位置の窓を開けないと十分な換気ができない場合があります。

■換気できない場所では使用しない
窓が凍結する場所や地下室など、換気ができない場所では使用しない。
一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

火災予防、スプレー缶厳禁

■機器の近くには、燃えやすいものを置かない
機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
また、可燃物（家具、カーテン、洗濯物など）を近づけないでください。火災の原因になります。

■使用中は外出、就寝しない
火災など予期せぬ事故の原因になります。

■機器の近くでは、引火のおそれのあるものを使用しない
スプレー・ガソリン・ベンジンなどを置いたり、使用しないでください。引火して火災のおそれがあります。

■温風吹出し口・エアフィルターをふさがない、また紙・布・異物などを入れない
異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。

■スプレー缶を機器の前に置かない
機器の周辺や上、温風吹出し口の前方でスプレー缶（殺虫剤・ヘアスプレー・カセットコンロ用ボンベなど）を使用したり、置いたりしないでください。
熱で缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

電源コード・プラグについて

■切断して延長しない
機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内としてください。感電や火災などの原因になります。

■無理な力を加えたり、重いものをのせたりしない、また、たばねたまま使用しない
感電や火災などの原因になります。

■いたんだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない
感電・発熱による火災の原因になります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流（AC）100V以外で使わない
たこ足配線などで指定された定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれ手禁止
■ぬれた手で抜き差ししない
感電やけがの原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

■電源プラグは根元までしっかりコンセントに差し込む
差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

異常時の処置

■異常時は使用を中止して、ガス栓を閉じる
①点火しない場合や使用中に異常な燃焼・異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、または使用途中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉じる。
（つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。）
②異常を感じたときは「10 故障かな？と思ったら」、「11 ブザーが鳴って、運転が停止した場合」に従う。
③上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または、もよりのガス会社（供給業者）に連絡する。

■地震、火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓とメーターのガス栓を閉じる
（つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。）

⚠注意

火災予防

■暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しない
衣類・毛布・シーツなどを機器の上に置いたり、掛けたりしないでください。
火災や思わぬ事故の原因になります。また、機器の変形や故障の原因にもなります。

■運転したまま持ち運びしない
ガスコードが折れて異常燃焼の原因になったり、ガスコードの接続が不完全になり、ガス漏れの原因になります。また、やけどなどの原因にもなります。

■火のついたタバコ・線香などを近づけない
引火して火災の原因になるおそれがあります。

■棚の下など、落下物のおそれのあるところでは使用しない
落下物によっては、火災のおそれや機器故障の原因になります。

設置場所

■段差のある床面に設置しない
温風の当たる部分が変色したり、ヒビ割れすることがあります。

■電気カーペット・温水マットの上には設置しない
- ●機器の重みで電気カーペット・温水マットが故障することがあります。
- ●電気カーペット・温水マットの熱で機器が正しい制御をしないことがあります。

■温風吹出し口の前にギャラリ（格子）を取り付けない
温度調節が正しく行われず、火災の原因になります。

■ドアの近くに置かない
機器の転倒や、やけどなどのおそれがあります。

■特殊な場所に設置しない
乾燥室・温室・動植物の飼育室など、特殊な場所では絶対に使用しないでください。
植物が枯れたり、動物が死亡するおそれがあります。

■スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ほこりの多い場所（理・美容院やメッキ・塗装工場など）では使用しない
フロンガスや塩素系溶剤は、腐食性ガスの発生により金属がさびたり、刺激臭や異臭がする原因になります。また、健康を害したり、機器故障の原因になります。

■機械油や天ぷら油など油成分が浮遊している場所に置かない
機器の樹脂部がヒビ割れしたり、破損することがあります。

■高温や多湿になる場所に置かない、保管しない
機器の金属部がさびたり、樹脂部がヒビ割れしたり、破損することがあります。
また、機器故障の原因になります。

水ぬれ禁止
■水のかかる場所に設置しない
浴室など高温・多湿の場所や水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。
漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。

■機器の上に花びんや金魚ばちなどを置かない
漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。

■水平なところに設置する
機器が傾くと、転倒し運転が停止したり、温風の方向がかわり、温風の当たる部分が変色したり、ヒビ割れすることがあります。

■毛足の長いじゅうたんやクッションフロアの上に置く場合は、機器の重みで沈んでも、じゅうたんの毛やクッションフロアに直接温風が当たらないように、機器の下に板などを敷いて使用する
じゅうたんやクッションフロアの上にじかに置くと、温風の熱で変色することがあります。
また、機器の重みでじゅうたんやクッションフロアにキズがつくことがあります。

ご使用について

■機器の上に腰かけたり、のったりしない
- ●けがや、やけどの原因になります。
- ●機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼など機器故障のおそれがあります。

■くんじょうタイプ（発煙型）の殺虫剤、防虫剤を使う場合は運転しない
機器内部に薬剤成分が蓄積し、その後温風吹出し口から放出されて、健康に良くないことがあります。

■殺虫剤、防虫剤を機器にかけない
機器の樹脂部が変色したり、ヒビ割れすることがあります。

■温風吹出し口の前や周囲にものを置いたり、機器背面（エアフィルター部）をふさがない
- ●機器が過熱し、やけどや機器故障の原因になります。
- ●床やじゅうたんなどの変色やヒビ割れ、プラスチック製品の場合は変形・変色のおそれがあります。

■エアフィルターを外して運転しない
機器内部へのほこり詰まりによる機器故障の原因になります。

回転物注意
■温風吹出し口に指や鉛筆などを入れない
対流ファンが回転しているため、けがや、やけどや機器故障の原因になります。
特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

高温注意
■使用中および使用直後は、操作部、取っ手以外は手を触れない
操作部、取っ手以外は高温になっていますので、手を触れるとやけどのおそれがあります。
特に温風吹出し口付近、エアフィルター部などの高温部には触れないでください。

■停電したときや、誤って電源プラグを抜いて機器が停止したときは、機器背面（エアフィルター部や取っ手部分）に手を触れない
高温になっていますので、手を触れるとやけどのおそれがあります。

■小さなお子さまが遊んだり、いたずらしないように注意する
思わぬ事故につながるおそれがあります。

電源コード・プラグについて

■電源プラグを抜いて停止しない
機器の過熱の原因になります。

■電源コードを持って引き抜かない
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、感電・ショート・火災や機器故障の原因になります。

電源プラグをコンセントから抜け
■点検やお手入れの際は、必ず電源プラグを抜く
感電やけがをすることがあります。

ガス事故防止

■ガス栓を閉じる
外出や、長時間使用しないときは、ガス栓を必ず閉じてください。
（つまみのないガス栓の場合は、ガス栓からガスコードを外してください。）

■点火・消火の確認をする
使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

お願い
- ●壁に掛けたり、机や台にのせて使用しないでください。落下や転倒により、けがの原因になります。
- ●強い風の吹き込むところでは使用しないでください。炎が風で消えることがあります。
- ●雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- ●十分に換気して、結露に注意してください。
- ●機器の近くでヘアスプレーや制汗スプレーなどシリコンの入ったスプレー缶を使わないでください。機器内部や温風吹出し口にシリコンの白い粉が付着したり、吹出したりすることがあります。
- ●お部屋の空気が汚れているところでは使用しないでください。
  ほこりやタバコの煙などにより、じゅうたんなど温風の当たる部分が変色する（汚れる）ことがあります。

2 各部のなまえとはたらき

〈正 面〉

操作・表示部
ここでガスファンヒーターを操作します。

温風吹出し口
温風が出てきます。

ご注意ラベル
使用上の注意事項を記載しています。お使いになる前に、必ずお読みください。

〈背 面〉

取っ手
移動させるときは、ここを持ってください。

クリップ
エアフィルターを固定します。

ガス接続口
ガスコードを接続します。

キャップ（透明）
使用しないときは、ガス接続口にキャップをしてください。

電源プラグ・コード
AC100V 50/60Hz用です。

エアフィルター
空気中のほこりが機器内に入るのを防ぎます。

ご注意・操作方法ラベル
使用上の注意事項と操作方法を記載しています。お使いになる前に、必ずお読みください。

ガス接続ご注意ラベル
ガス接続時の注意事項を記載しています。お使いになる前に、必ずお読みください。

銘板
ガスや電源の種類などを記載しています。

コードホルダー
機器を使わないときや移動するときは、電源コードをたばね、コードホルダーにはさんでおきます。

3 お使いになる前に（機器の接続）

機器の接続

■用意するもの
- ガスコード（別売）

（お願い）
- 必ず別売のガスコードを使用してください。
- 折れたり、ねじれたりしないように、お部屋に合った長さのガスコードをご用意ください。
- お買い上げ時の箱やビニールシートなどの梱包材は捨てずに大切に保管してください。

正しい接続

❶電源を接続する
電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。

❷カバーの取り外しかた
- このカバーは、ガスコードによる正しい接続を確認するためのものです。
- カバーが開かない場合は、間違ったガスホースです。必ず当社指定のガスコード（別売）を使用してください。

①ガスコードのキャップを外して、カバーに差し込む

②そのまま、ガスコードを奥まで押し込む

③カバーが開くので、金具から取り外す

⚠注意
■カバーについて
- カバーを手などで強引に外したり、壊したりしないでください。けがをするおそれがあります。また、機器が故障して、ガス漏れの原因になります。
- 外したカバーは再使用しないでください。必ず捨ててください。（カバーが破損し、ガス漏れの原因になります）

❸ガスコードを機器に接続する
ガスコードの細い方の先端をガス接続口に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

- 引っ張っても抜けないことを確認してください。

（お願い）
- ガスコードや機器のガス接続口に、ごみなどの異物がないことを確認してから接続してください。
- ガス接続口についているキャップをなくさないように大切に保管してください。機器を輸送・保管するときに、ごみの混入を防ぐために使います。

取り外すときは
- スリーブを矢印の方向に引っ張ります。

❹ガスコードをコンセントガス栓に接続する
ガスコードの太い方の先端をお部屋のコンセントガス栓に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

〈取り付けかた〉 〈取り外しかた〉

- 「コンセント継手」方式のコンセントガス栓は、ガスコードなどを取り付けると、自動的に開栓し、取り外すと自動的に閉栓します。
- 引っ張っても抜けないことを確認してください。
- ガス栓につまみがついている場合は、つまみを全開にしてください。

⚠警告
■電源コードについて
- 温風吹出し口の前や機器の下を通さないでください。

■ガスコードについて
- 継ぎ足して使用しないでください。
- 温度の高いところにガスコードが触れたり、上にものをのせないでください。
- 他の部屋まで延長したり、壁や天井などを通したりしないでください。
- ヒビ割れたりして古くなったガスコードは、必ず取り替える。
- ガスコードが、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く接続してください。（ガスコードの長さは、できるだけ2m以下で、長くても5m以下にしてください。）
- ガス接続口はていねいに清潔に取り扱ってください。ガス接続口に傷がついたり、異物が付着すると、ガス漏れの原因となります。使用しないときは、ガス接続口にキャップをつけておいてください。

4 運転・停止のしかた

ガスファンヒーターの基本操作です。

操作部のなまえ

運転のしかた

■運転スイッチを押す。（ピッと音がするまで押す。）
- 運転／燃焼ランプが緑色に点灯します。
- 設定室温が表示され、運転を開始します。温風吹出し口から風が出てきます。
- 「5～10 秒」程で点火し、運転／燃焼ランプが緑色から赤色にかわり、バーナーに点火したことをお知らせします。

- 消し忘れを防ぐため、運転開始後 8 時間で自動的に消火します。

停止のしかた

■運転スイッチを押す。
- 運転／燃焼ランプが消灯します。

（お願い）
- 消火後数分間は、機器内部を冷やすため、温風吹出し口から風が出ます。この間は電源プラグを抜かないでください。機器が過熱して、やけどのおそれがあります。
- 消火後、運転／燃焼ランプが消灯したことを必ず確認してください。

フィルター掃除サインが点滅したら

- エアフィルターにほこりが詰まると、フィルター掃除サインの赤色点滅とブザーで、掃除が必要なことをお知らせします。運転を止め、「9 日常の点検とお手入れ」に従って、エアフィルターを掃除してください。

5 室温調節のしかた

室温の設定および変更は、運転中しかできません。
■室温合せスイッチを押して変更する。

■設定できる室温

L	12…26	H
約10℃	12℃～26℃	連続して強燃焼

- 初めてお使いのときは、22℃に設定されています。
- 設定が「L」または「H」になってから室温合せスイッチを押しても「ピピ」と鳴って、それ以上は変わりません。
- 設定室温は、停電が起きたときや、電源プラグを抜いた場合でも記憶されます。

（お願い）
- お部屋の構造、設置場所、室外温度によっては、設定した室温にならない場合があります。また、弱燃焼になってもお部屋の温度が上がっていくことがありますので、このような場合には、いったん運転を停止してください。

6 スイッチをロックする（ロック機能）

小さなお子さまのいたずらや誤操作を防ぐため、スイッチ操作をロックする機能です。

ロックのしかた

- 「▽」スイッチと「△」スイッチを同時に押す。ロックランプ（緑色）が点灯します。

ロックの解除のしかた

- 「▽」スイッチと「△」スイッチを同時に 1 秒以上押す。ロックランプが消灯します。

- 運転中にロックしたときは、ロックの解除および運転停止の操作（運転スイッチを押す）以外はできません。
- 停止中にロックしたときは、ロックの解除以外はできません。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、ロックは解除されます。

7 ブザー機能について

スイッチを操作したときや、安全装置がはたらいたときなどに、ブザーでお知らせする機能です。
お買い上げ時は、ブザーでお知らせする設定になっていますが、必要に応じて、ブザー音を消すことができます。

- ブザー音を消した場合でも、安全装置作動時には、ブザーでお知らせします。

スイッチ操作と機器の動作状態	ブザー音
スイッチ「入／受付」時	ピッ
スイッチ「切／解除」時	ピー
フィルター掃除サイン点滅時	ピピッ、ピピッ…（10回）
安全装置作動時	ピー、ピー…（20回）

ブザー音を消すには 操作は運転を停止させ、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

❶ 「△」スイッチを押しながら → 電源プラグをコンセントに差し込む
- 初めてお使いになるときは「01」（ブザー音あり）に設定されています。 → 01 設定室温

❷ 「▽」スイッチを押す
- 「00」（ブザー音なし）に設定する。 → 00 設定室温

❸ 電源プラグをコンセントから抜く → 再度差し込む → ブザー音なしに設定されます。

ブザー音ありに戻すには
→再度❶の操作をし、「△」スイッチを押し「01」にして、❸の操作をします。

8 仕様・寸法図

暖房の目やすは温暖地を基準にしております。

品名		RR-2415S-X	RR-4015S-X
型式名		RC-M2403E	RC-M4003E
種類	燃焼方式	ブンゼン燃焼式	ブンゼン燃焼式
	給排気方式	開放式	開放式
	放熱方式	強制対流式	強制対流式
点火方式		連続放電点火方式	連続放電点火方式
暖房の目やす	一般木造	7 畳まで	11 畳まで
	鉄筋および断熱木造	9 畳まで	15 畳まで
外形寸法（mm）		高さ381×幅410×奥行135（脚部170）	高さ439×幅460×奥行160（脚部210）
質量（本体）		6.3kg	8.1kg
電気関係	電源	AC100V、50/60Hz	AC100V、50/60Hz
	消費電力（50/60Hz）	31/30W（待機時 0.7/0.6W）	26/29W（待機時 0.7/0.6W）
	電源コードの長さ	2m	2m
安全装置		・不完全燃焼防止装置（熱電対式） ・過電流防止装置（電流ヒューズ） ・転倒時ガス遮断装置 ・スイッチ回路安全装置	・立消え安全装置（熱電対式） ・停電時安全装置 ・過熱防止装置（温度ヒューズ、サーミスタ） ・8 時間自動消火機能
ガス接続		ガスコード	ガスコード
使用ガス・使用ガスグループ		1 時間当たりのガス消費量	1 時間当たりのガス消費量
都市ガス用	13 A	2.44kW	4.07kW
	12 A	2.28kW	3.79kW
付属品		取扱説明書（保証書付）、事業所一覧	取扱説明書（保証書付）、事業所一覧

9 日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただけるように、点検とお手入れは定期的に行ってください。

日常の点検

点検のポイント…次のチェックポイントを点検してください。

- ガスコードは → 正しく接続されていますか？ / 折れたり、ねじれたりしていませんか？
- 電源コードは → いたんでいませんか？
- エアフィルターは → 正しくセットされていますか？ / ほこり詰まりはありませんか？

（お願い）
- 日常の点検・お手入れの際には運転を停止して必ずガス栓を閉じ、機器が十分に冷えてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れ

●機器・温風吹出し口のお手入れ（1ヵ月に1回程度）
1ヵ月に1 回程度、汚れたときはそのつどお手入れしてください。
- やわらかい布をぬるま湯でぬらし、よくしぼってから機器の表面を拭きます。特に汚れのひどいときは、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけて拭き取ってください。
- 電気掃除機などで温風吹出し口のほこりを吸い取ります。温風吹出し口に白い粉や汚れが付着することがありますが、異常ではありません。やわらかい布で拭き取ってください。

●エアフィルターのお手入れ（1ヵ月に1回程度）
1 ヵ月に 1 回程度、汚れたときは、そのつどお手入れしてください。
- エアフィルターは装着したまま、変形させないように電気掃除機などでほこりを吸い取ってください。
- 汚れがひどいときは、エアフィルターを取り外して、詰まっているほこりを取り除いてください。
- 油などで特に汚れた場合は、台所用中性洗剤で洗ってください。水気をよくきってから十分に乾燥させた後、エアフィルターを元の位置に取り付けてください。

⚠注意
- 温風吹出し口のルーバーを強く押えたり、衝撃を加えたりしないでください。ルーバーが折れたり、曲がったりして、温風の方向が変わり、床やカーペットなどが変色することがあります。

（お願い）
- 化学ぞうきん、酸性・アルカリ性洗剤、漂白剤、スプレー式洗剤、シンナー、ベンジン、アルコールなどは、絶対に使用しないでください。塗装の色があせたり、樹脂製の部品が変色したりします。
- お手入れの際は、けがを防ぐためにも、手袋をはめて行うことをおすすめします。
- 機器本体に貼り付けられているご注意ラベルが汚れたり、読めなくなったときは、やわらかい布で汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際に、はがれないように注意してください。はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店、または、もよりの東京ガスで新しいラベルをお買い求めのうえ、貼り替えてください。

〈取り外しかた〉

①エアフィルター上部にある2つのクリップをゆるめる。
②エアフィルターを少し手前に引いて、上にスライドさせて取り外す。

〈取り付けかた〉

エアフィルターが 3 カ所の受け部の内側に入っていることを確認してから、クリップを差し込んでください。
①エアフィルターを機器の受け部にのせ、2 つのクリップを角穴に差し込む。
② 2 つのクリップを締めて固定する。

- エアフィルターを取り外したまま運転すると機器故障の原因になります。掃除後は必ず元の位置に確実にセットしてください。
- エアフィルターにほこりが詰まると、フィルター掃除サインの赤色点滅とブザーで、掃除が必要なことをお知らせします。運転を止め、エアフィルターを掃除してください。
- 運転したまま掃除しても、フィルター掃除サインは消灯しません。いったん運転を停止してください。
- エアフィルターを掃除してもフィルター掃除サインが消灯しないときは、機器内部にほこりやごみが付着している可能性があります。点検整備を受けられることをおすすめします。（お買い上げの販売店、または、もよりの東京ガスにご相談ください。）
- フィルター掃除サインが点滅しているときは、最大燃焼量を下げて運転します。
- フィルター掃除サイン点滅後も運転を続けると、機器内部が異常に過熱し、機器が自動的に停止することがあります。

10 故障かな？と思ったら

故障かな？と思っても、よく調べてみると故障でない場合もあります。修理を依頼する前に、もう一度以下のことをお調べください。それでも直らないときや原因がわからないときには、お買い上げの販売店、または、もよりのガス会社（供給業者）に連絡してください。

こんな場合は	調べてください
①運転しない ・運転スイッチを押しても運転しない。 ・運転／燃焼ランプが緑色に点灯しない。	●電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？ ●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ●停電ではありませんか？ ●ロックがセットされていませんか？
②点火しない ・運転／燃焼ランプが赤色に点灯しない。	●お部屋のガス栓は全開になっていますか？ ●ガスコード内に空気が残っていませんか？ ●マイコンメーターが作動していませんか？
③使用中に消火する	●エアフィルターにほこりが詰まっていませんか？（フィルター掃除サインが点滅していませんか？） ●温風吹出し口がふさがれていませんか？ ●機器の後方と壁の距離は 4.5cm 以上ありますか？ ●マイコンメーターが作動していませんか？ ● 8 時間自動消火機能が作動していませんか？ ●不完全燃焼防止装置が作動していませんか？ 室内の換気をしてください。
④よく暖まらない	●エアフィルターにほこりが詰まっていませんか？（フィルター掃除サインが点滅していませんか？） ●設定室温が低くありませんか？ ●お部屋の窓や戸が開いていませんか？ ●お部屋のガス栓は全開になっていますか？ ●機器前方60cm 以内にものが置いてありませんか？ ●お部屋の大きさと機器の仕様（暖房の目やす）が合っていますか？
⑤暖まりすぎる	●機器背面にすきま風や冷たい空気が当たっていませんか？
⑥ガスくさい	●ガスコードや機器のガス接続口に傷がついていたり、ごみなど異物が入っていませんか？ ●別売のガスコードで正しく接続されていますか？ ●ガスコードがいたんでいませんか？

こんなときは故障ではありません

	現象	原因と対策
運転前	シーズン始めや、しばらくの間運転しなかった後、ガスコードを脱着した後になかなか点火しない。	ガスコード内に空気が入ったためです。 いったん点火してから消えた場合は、再点火機能が自動的に 1 回だけ作動します。
運転中	ガスコードを脱着した後の運転開始時に運転／燃焼ランプが緑→赤→緑→赤に点灯する。	ガスコード内に空気が入ったことにより、再点火機能が作動したためです。
運転中	初めて運転したときに、煙やにおいが出る。	機器内部の部品などに付着している油などが焼けるためです。しばらく換気しながら使用してください。また、フローリングのワックスなどが温風に加熱されて、におうことがあります。しばらくすると自然になくなります。
運転中	点火時や、停止後に「コツン」、「コツン」という音がする。	ガス通路を開閉するための電磁弁（電気で開閉するガス弁）が作動する音です。
運転中	点火時に「ボッ」という音がする。	点火音がする場合があります。
運転中	点火時に「ヒュー」、「ピー」という音がする。	ガスコードを脱着したときに、ガスコード内に空気が入ったためです。
運転中	運転中に「シャー」という音がする。	ガスの通過音がする場合があります。
運転中	点火後や、停止後に「チリ、チリ」、「コツン、コツン」とキシミ音が出る。	機器内部の部品などが加熱や冷却される際に金属が膨張、収縮して発生する音です。
運転後・停止中	停止後も、温風吹出し口から風が出る。	機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
運転後・停止中	停止後、再度運転操作をしてもすぐに点火しない。	内部が冷えるまでしばらく待ち、約20秒たってから自動的に点火します。
運転後・停止中	誤って電源プラグを抜いてしまったため、すぐ差し込んで運転操作をしたが、点火しない。	内部が冷えるまで数分間待ってから、再度運転操作をしてください。

⚠警告
- 絶対にお客さまご自身で修理なさらないでください。不備がありますと火災・感電などの原因になります。

11 ブザーが鳴って、運転が停止した場合

安全装置がはたらくと、機器が停止して、表示とブザーでお知らせします。
温風吹出し口から風が出なくなってから確認してください。

（お願い）
- 下記に従って点検しても、たびたび同じように安全装置がはたらく場合や、このほかの表示が出たとき、またエアフィルターを掃除してもフィルター掃除サインが消灯しないときにも修理が必要です。お買い上げの販売店、または、もよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。

- 点滅表示は、運転スイッチを押すと解除されます。
- ブザー音については「7 ブザー機能について」をご覧ください。

表示		安全装置	はたらき	原因	処置方法
12（点滅）	運転／燃焼（赤色点滅）	不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に、ガスを止め運転を停止します。	室内で換気不十分な状態で使用したり、エアフィルターにほこりが詰まっているときに起こります。	十分にお部屋の換気を行い、エアフィルター部の掃除を行った後、再運転してください。
		立消え安全装置	使用中に炎が消えてしまったとき、ガスを止め運転を停止します。	ガス栓が開きたりなかったときや、ガスコードを脱着した後などに起こります。	点検後、再運転してください。
11（点滅）	運転／燃焼（赤色点滅）		点火時、着火しなかったときなどにガスを止め、運転を停止します。	ガス栓が閉じられていたり、開きたりなかったときなどに起こります。	
01（点滅）	運転／燃焼（赤色点滅）	8 時間自動消火機能	消し忘れ防止のため、運転開始後 8 時間で自動消火します。	故障ではありません。 運転開始後 8 時間が過ぎたためです。	継続して運転する場合は、再運転してください。
03（点滅）	運転／燃焼（赤色点滅）	転倒時ガス遮断装置	機器が倒れたときに、ガスを止め運転を停止します。	機器が倒れたときなどに起こります。	機器を正しい状態に設置した後、再運転してください。
14（点滅）	フィルター掃除（赤色点滅） 運転／燃焼（赤色点滅）	過熱防止装置（サーミスタ）	機器内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止します。	エアフィルターにほこりが詰まったり、温風吹出し口に障害物があるときなどに起こります。	エアフィルター部の掃除や、障害物を取り除いた後しばらく（5～6 分）してから再運転してください。（温風吹出し口から風が出ている間は、電源プラグを抜かないでください。）再び同じ表示が出る場合は、修理が必要です。 お買い上げの販売店、または、もよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。
		過熱防止装置（温度ヒューズ）	機器内が異常過熱したときに、ガスを止め運転を停止します。	エアフィルターや温風吹出し口がふさがれたときなどに起こります。	修理が必要です。お買い上げの販売店、または、もよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。
（消灯）※	○ 運転／燃焼（消灯）	過電流防止装置（電流ヒューズ）	過電流が流れたときに、電流ヒューズを切り、運転を停止します。	電気回路がショートしたときなどに起こります。	修理が必要です。お買い上げの販売店、または、もよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。
停電時（消灯）※	○ 運転／燃焼（消灯）	停電時安全装置	停電したときには、ガスを止め運転を停止します。 また、停電中は使用できません。	故障ではありません。 運転中に停電になったり、電源プラグを引き抜いたためです。	再通電時、温風吹出し口から風が出ていることがあります。 この場合、風が止まってから運転スイッチを 1 回押して、点滅表示を解除し、再運転してください。（停電中は必ずガス栓を閉じてください。）
再通電 00（点滅）	運転／燃焼（赤色点滅）				
70（点滅）	運転／燃焼（赤色点滅）	スイッチ回路安全装置	運転スイッチ回路に異常が起きたときに、ガスを止め運転を停止します。	運転スイッチ回路がショートしたり、15 秒以上押し続けたときに起こります。	運転スイッチを 1 回押して、点滅表示を解除し、再運転してください。 再び同じ表示が出る場合は、修理が必要です。お買い上げの販売店、または、もよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。
上記以外の表示		上記以外の安全装置作動	上記以外の異常が起きたときに、安全停止します。	ガス栓を閉め、お買い上げの販売店、または、もよりのガス会社（供給業者）へご連絡ください。	

※の場合はブザーは鳴りません。

12 保管とアフターサービス

保管（長期間使用しない場合）

ガス栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜き、ガスコードを取り外してください。

●機器の点検・お手入れをしてから保管してください。
- ほこりやごみが入らないように、機器のガス接続口やガスコードには付属のキャップをはめてください。
- お手入れが終わったら、機器をお買い上げ時の箱に入れて保管してください。
- 収納方法については、お買い上げ時の箱をご覧ください。
- 湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- ベランダなど直射日光の当たる場所や高温になるところでの保管は、樹脂部分の変色や変形のおそれがありますので避けてください。

アフターサービスについて

●サービス（点検・修理）を依頼される前に
「10 故障かな？と思ったら」、「11 ブザーが鳴って、運転が停止した場合」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、または、もよりの東京ガスにご連絡ください。（別添の「事業所一覧」参照）
そのままご使用になりますと、故障や感電・火災の原因になります。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください
①お名前・ご住所、電話番号・道順（できるだけくわしく）
②品名（例：RR-2415S-X ／機器コード 11-080-12-00390）
③現象（できるだけくわしく）
④訪問ご希望日

●転居されるとき
- ガスには都市ガス数種類および LP ガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認のうえ、もよりの東京ガス、転居先のもよりのガス事業者（供給業者）にご相談ください。
この場合、調整や改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

●保証について
- 保証期間中は・・・
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。くわしくは、保証書をご覧ください。保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
お買い上げの販売店、または、もよりの東京ガスにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間について
- 補修用性能部品の保有期間は、当製品の製造打切後 6 年間となっています。
なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●点検整備のおすすめ（有料）
- 長期間、安全快適にご使用いただくために定期的に（3 シーズンに 1 回程度）「点検整備」を受けられることをおすすめします。
- 「点検整備」は、お買い上げの販売店、または、もよりの東京ガスにご用命ください。（有料）
- 「点検整備」の内容は、下記のとおりです。
①機能部品の点検、確認　②掃除整備